盛隆会だより 第４号

発行所 盛隆会事務局
〒602-8026 京都市上京区新町通丸太町上ル春帯町349-2
仙石ビル305号
電話(075)254-8553 FAX(075)254-8554

発行責任者 瀧 紘一　発行日 令和２年４月24日

新しい年度を迎えて

京都府知事 西脇隆俊

会員の皆様には、平素より温かく、力強い御支援を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

現在、急激な勢いで世界中に蔓延している新型コロナウイルス感染症により、皆様の生活にも深刻な影響が及んでいるところであり、感染症に打ち勝つことが、最大の課題であります。

感染症の発生以降、私は、２月定例府議会に二度にわたり感染症対策のための補正予算を提案、即日御議決いただき、京都市をはじめとする市町村や医師会等とも連携して、24時間体制での相談や検査の実施、検査機器の追加配備による体制の強化をはじめ、帰国者・接触者外来の設置、入院可能な医療機関の確保調整のほか、マスクや手指消毒液の医療機関や市町村等への緊急配布など、皆様の生命と健康を守るため、国の緊急対応策とも呼応し、感染拡大防止に取り組んでまいりました。

皆様には、イベントの自粛や学校の臨時休業等、多大なご負担をお掛けしておりますが、こうした取組に対する御理解と御協力に改めて感謝申し上げます。

しかしながら、府内でもクラスターの発生が確認され、感染が拡大、予断を許さない状況となっていることから、積極的疫学調査を実施し、感染拡大を封じ込めるべく、全力を挙げて取り組んでおります。

また、人の流れや物の流れが滞ることにより、府内の主要産業であるものづくりや観光をはじめ、あらゆる分野の企業・事業者の経営に大きな影響が及び、また、稼働時間の縮小による賃金の減少という形で働く人々の生活も直撃しております。このため、補正予算において、中小企業等に対する融資や補助金の創設などの緊急経営支援を実施するとともに、総合的な支援体制を構築してまいりました。さらに、経済界や労働団体の方々と情報共有、意見交換を行い、その意見等を踏まえ、中小企業の経営悪化や減収等に対する支援策や雇用対策、景気回復に向けた中長期的な課題への対応などを国に緊急要望いたしました。

何よりも、感染症を終息させることが最大の景気対策であり、引き続き、国や市町村、関係機関と連携し、感染拡大の防止に全力を挙げてまいりますので、会員の皆様にも御協力いただきますようお願い申し上げます。

こうした感染症への対応と同時に、人口減少・少子高齢化や頻発する自然災害、悲惨な事件・事故など、令和の時代に私たちが直面する危機に立ち向かい、また、ＡＩやＩｏＴなどの新しい技術をあらゆる産業や、暮らしのためにも活用していかなくてはなりません。

こうした課題に対応し、概ね20年後に、一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府をめざし、昨年10月、今後の府政運営の羅針盤となる京都府総合計画「京都夢実現プラン」を府議会の御議決をいただき、策定いたしました。

令和２年度当初予算は、このプランの実現に向けた発射台となる「令和新時代・京都府夢実現チャレンジ予算」を編成いたしました。「子育て環境日本一の京都づくり」をはじめ、６つの柱を軸に施策を展開してまいります。

府民、市町村、団体、企業、全ての皆様と連携し、オール京都でプランを実行することにより、府内すべての地域が、活力にあふれ誇りの持てる、新しい時代の京都を築き上げるため、全力で取り組んでまいりますので、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たり、会員の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

皆様のご協力を

盛隆会 会長 若林卯兵衛

会員皆様のご協力により「盛隆会だより」も第４号を発行することが出来ました。平素からの力強いご支援、ご協力に対し、心より厚くお礼を申しあげます。西脇知事におかれましては、ご就任から早くも２年が経ち、前職等のご経験を活かしながら政務を精力的にこなしておられます。今回の世界的に蔓延しております新型コロナウイルス感染症対策におきましても、検査実施体制の強化、帰国者・接触者相談センターの設置など、京都市や医師会とも連携され、感染の拡大防止対策に全力を傾注されておられます。

大きな自然災害が起こるたびに、人間本来の有りたい姿とはほど遠い行動がニュースで流れますが、日本人の美徳として持ってきた良き習慣「思いやりの心」を改めて思い起こしたいものです。

京都におきましてもインバウンドの激減による経済的な被害が出てきており、特にホテルの宿泊客が見込めないことによる宿泊価格の混乱も生じております。知事の公約の実行も当然必要で大切なことではありますが、今しばらくはこの事態の一日も早い収束に向けて、全力で立ち向かって行かれるよう、会員一同しっかりと応援していきたいものです。結びにあたり会員皆様のご健勝ご多幸を心から念じご挨拶といたします。

令和２年４月24日（通巻第4号）

令和新時代 京都府夢実現チャレンジ予算

・令和２年度の当初予算は、新しい京都府総合計画を踏まえ、国の経済対策も十分に活用しながら14か月予算として編成。
・６つの柱を軸に、少子高齢化や自然災害への対応をはじめ、京都発展の機会を最大限に生かす各種施策を着実に推進してまいります。

14か月予算　9,155億円（一般会計）　対前年度比　101.3%
（令和2年度当初　9,018億円
令和元年度2月補正　137億円）

1. 子育て環境日本一の京都づくり

①子育てにやさしい風土づくり【1.3億円規模】

・府域全体で子育てを支える風土づくりのため、各地で「地域サミット」を展開
・多くの子どもや子育て家庭に利用される府民利用施設を中心に、授乳室など子育てにやさしい環境を整備
・仕事と育児の両立体験実施企業の掘り起こし、マッチング機会の拡大
など

②子育てしやすい地域・まちづくり【107.7億円規模】

・子育てにやさしいまちづくりに包括的に取り組む市町村を支援
・通学路・生活道路における交通取り締まりを強化
・園児の散歩コースなどにおいて、歩道設置などの安全対策を実施
・保育支援者（キッズガード）を配置するための費用などを助成
・特定不妊治療に伴う通院交通費を助成
・府内私立高校に通う生徒に対する修学支援制度を拡充
・舞鶴こども療育センターの常勤医師を1名増員し、診療待機時間を短縮
・向日が丘支援学校の改築に向けた設計を実施
・幼児教育や高等教育の無償化
・児童虐待防止に関する施策を推進
など

③安心して子育てできる雇用環境等の創出【6.3億円規模】

・子育てにやさしい職場づくりを実践する企業の拡大を推進
・「子育て企業サポートチーム」の体制強化など、伴走支援体制の拡充
・府内大学から選定したモデル校と連携し、府内企業への就職・定着を促進
・従業員の奨学金返還への支援を行う中小企業を支援
など

2. 全ての府民が躍動する社会づくり

①スポーツのメッカ・京都づくり【6.2億円規模】

・スポーツの裾野拡大と地域のにぎわいづくりを展開
・府内各地のスポーツ拠点を整備する市町村を支援
・東京２０２０オリンピック・パラリンピックとその後を見据えた競技力強化や、指導者育成に向けた競技団体への支援
など

②京都で紡ぐ共生社会【2.5億円規模】

・外国人住民に対する市町村の相談窓口、日本語教室の開設を支援
・企業の外国人材の受け入れや活躍促進を支援
・中高年齢者の学び直しからマッチングまでの機能強化の検討およびモデル事業の展開
・レジ袋削減に係る市町村施策への支援
など

③脱ひきこもり・就職氷河期世代の就労支援【1.1億円規模】

・国の就職氷河期世代支援プログラムと連携した就職氷河期世代の方へのきめ細やかな就業支援
など

3. 文化首都・京都からの文化振興【24.6億円規模】

・国際的なアート展を開催し、作家のステップアップにつながるマーケットを開拓
・「京都文化力プロジェクト」の集大成として各種文化イベントを開催
・文化財の保存と活用を一体的に推進
・文化庁の京都への本格移転に向け、新行政棟建設および現京都府警察本部改修工事などに着手
など

4. 新産業創造・成長

①起業のみやこ京都【3.7億円規模】

・スタートアップ企業に必要な設備貸与やスタートアップオフィスルームの整備など、企業のステージに応じた伴走支援
・事業承継支援先の増加や、税制などの専門相談に対応するため支援体制を強化し、多様な承継・継承を促進
など

②「食の京都」を核とした広域観光促進【4.9億円規模】

・「食の京都」の情報発信や地域の注目食材を活かした誘客促進などを実施
・京都市と連携した新たなインバウンド向けプロモーションおよび「もうひとつの京都」多言語ＷＥＢサイトのリニューアルを実施
・地域の特性を生かした多様な宿泊施設の立地に対して助成
など

③農林水産業の収益力向上【24.6億円規模】

・京都府オリジナル米新品種のブランド化を戦略的に推進
・林業事業体の生産拡大や就業者確保のための取り組みを支援
・瓶入り宇治茶のプロモーションおよび宇治茶の世界文化遺産登録に向けたＰＲなどを展開
・中央卸売市場第一市場の施設整備を支援
など

5. 府民の安心・安全レベルアップ

①災害からの逃げ遅れゼロ【5.7億円規模】

・避難訓練プログラムを開発し、全ての市町村で訓練などを実施
・災害情報の多言語発信や備蓄物資管理の円滑化が可能となる総合防災情報システムの整備
・道路情報管理・提供システムを全面改修
など

②防災・減災、国土強靭化【838.8億円規模】

・大規模な浸水、土砂災害などによる被害の防止や軽減を図るため、防災・減災、安心・安全基盤を整備
・平成30年に発生した災害からの復旧を加速（風倒木対策の強化など）
・堆積状況や人家への危険度に応じて河川の浚渫（しゅんせつ）工事を実施
など

③医療・介護基盤の充実【37.1億円規模】

・「救急安心センター」を開設し、府内全域で救急電話相談（#7119）体制を構築
・「京都府地域医療支援センター」を活用し、オール京都体制で総合的な医師確保対策を推進
・後期高齢者の保険料の伸びを５％超抑制
・府立医科大学附属病院において、より専門的な医療が提供可能となるメディカルセンターを整備
・地域の支え合い、助け合い活動の立ち上げなどを支援
・施設整備や介護・福祉人材の確保など、医療・介護の基盤づくりを展開
など

6. 地域における生活・交通基盤の整備【50億円規模】

・京都舞鶴港の新規航路の就航に合わせたポートセールスや物流機能を強化
・ＪＲ向日町駅周辺の市街地再開発事業に対し助成
・木津川運動公園北側の整備に向けた調査を実施
・北山エリア整備の基本計画を策定
・ＪＲ奈良線の複線化・高速化や関連駅舎整備を実施
・地域振興計画を推進し、地域独自の課題に戦略的に対応
など

新型コロナウイルス感染症対策（令和元年度２月補正予算）～ 総額28億円規模 ～

・2月定例府議会の開会日(2/13)と閉会日(3/19)に2度にわたり補正予算を提案、それぞれ即日議決を頂き、府民の生命と健康を守るための対策と、中小企業等に対する緊急支援を実施

1. 感染拡大防止策と検査・医療提供体制の整備【1.9億円規模】

・検査・医療体制の整備に必要となる資機材等の整備を行うとともに、府民向け啓発リーフレット配布や消毒等の防疫対策を実施
・保険適用に伴うＰＣＲ検査自己負担の支援、府域における患者受入れのための病床の確保、高齢者施設等における消毒の徹底等を実施

2. 学校の臨時休業に伴って生じる課題への対応【4.7億円規模】

・特別支援学校等の臨時休業に伴う放課後等デイサービス利用に係る利用者負担の軽減、個人向け緊急小口資金等の特例貸付を実施

3. 中小企業等に対する緊急支援【21.5億円規模】

・2月6日から府市協調で新たな融資を立ち上げ、売上が減少している中小企業等に対する支援を実施（融資枠100億円）
・「中小企業新型コロナウイルス対策緊急支援本部（仮称）」を京都経済センター内に設置するなど総合的な支援体制を構築
・緊急支援補助金を創設し、中小企業・農林水産業者に対するきめ細やかな支援を速やかに実施

盛隆会からのお知らせ

盛隆会からのご報告

西脇隆俊京都府知事の政治活動を支える政治団体「盛隆会」の令和元年中における収入・支出の状況は、下記のとおりでしたのでご報告いたします。

（令和2年3月25日　京都府選挙管理委員会へ提出済）

収入総額	12,833,479円	支出総額	9,516,951円
（主な内訳）	（単位：円）	（主な内訳）	（単位：円）
前年からの繰越金	1,640,462	事務所費等経常経費	1,190,886
元年分会費	7,350,000	組織活動費	418,223
寄付金	59,007	機関紙誌の発行費	310,018
第1回総会・懇談会会費	3,784,000	第1回総会・懇談会開催費	4,097,824
その他収入（預金利息）	10	*新しい時代の京都の会への寄附金	3,500,000

差引翌年（2年）への繰越額　　3,316,528円

＊『新しい時代の京都の会』は、西脇隆俊とともに、新しい時代の京都づくりを進めることを目的とした「西脇隆俊知事」の政治団体であり、盛隆会からの寄付金は、西脇知事の政治活動に活用されています。

盛隆会活動のご報告

令和元年の活動状況

令和元年に盛隆会が取り組みました主な活動の概要は、次のとおりです。

●盛隆会だよりの発行　2回　　●総会・講演会・懇談会の開催　　●役員会の開催　3回

令和２年の行事予定

●機関紙「盛隆会だより」の発行　3回　　●役員会の開催　3回程度

●知事講演録の配布　　●（仮称）西脇さんとの茶話会の企画・開催

事務局からのお願い

令和2年分会費の納入について

盛隆会の収支は、暦年制（1月から12月まで）としております。

2年分の納入につきましては、郵便振込専用口座への払込取扱票（赤伝票）を同封させていただきましたので、恐縮ですがお振り込みいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。（振込手数料は盛隆会の負担となっております。）

なお、既に会費を納入されている会員様に、払込取扱票（赤伝票）を送付致しておりました場合は、事務処理上のタイムラグによるものであり、心からお詫び申し上げます。

また、会費は1口3,000円以上で、個人名義でお願い致します。（1口以上、何口でも歓迎します。）

会費納入は、郵便振込専用口座の他に「京都銀行口座」も設けておりますので、お手数ですが、口座番号を事務局（075-254-8553）までお問合わせください。

事務局の勤務体制について

事務局には、火曜日、木曜日の午後（13：00~17：00）に職員が駐在しておりますので、ご連絡・お問合せ等ございましたら、この時間帯にお願い致しますとともにお近くにお越しの際は、是非ともお立ち寄りください。

盛隆会会員の拡大についてご協力をお願い

盛隆会の拡大・発展を図り西脇隆俊知事の日常の活動を支援するため、新会員のご入会の取り組みを進めておりますので、ご紹介、ご勧誘の程、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

〒602-8026　京都市上京区新町通丸太町上ル春帯町349-2　仙石ビル305号
電話（075）254-8553　FAX（075）254-8554
MAIL：seiryukai@wind.ocn.ne.jp